

定期テストは何故重要??



左下の表は京都市の公立高校入試の中期選抜（合格人数が一番多い入試）における選抜方法の一部です。配点は当日のテストが200点満点と中学1年～3年生までにおける報告書（通知表の成績）195点満点の合計が大きく合否に関わります。

報告書

9教科 全学年の評定 195点(①+②)

- 5教科（国語、社会、数学、理科、英語）
（各教科5点）×（5教科）×（3学年分）= 75点(①)
- 4教科（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）
（各教科5点）×（評定を2倍）×（4教科）×（3学年分）= 120点(②)

※報告書の評定は、「目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）」によるものとします。

学力検査

5教科 200点

- 実施5教科（国語、社会、数学、理科、英語）
（各教科40点）×（5教科）= 200点

この選抜方法が何を意味しているのかと言うと、入試の合否に大きく影響するのは通知表の成績と当日のテストの合計であり、かつ、その割合は1：1なので『入試は中学1年生から始まっている』ということです！よって、「中3の入試半年前くらいから頑張っ、て、当日のテストで点取ればいいかなー」というのでは遅いかもしれません！少し不安になり「今自分の通知表の合計点っていくつやろ、、、」と思った人もいるかもしれません。ただ逆に考えれば、早い段階から準備し力をつけておけば、未来への選択肢が広がるということになります！！よって、報告書の点数を上げるために、定期テストが重要になってきます。

定期テストアップのポイント！！



勉強中～



通知表の点数をアップするために定期テストを頑張らないといけない事はわかったけど、実際何をしたらいいの??

意外にシンプルですよ。ポイントは「テスト範囲を3回以上繰り返し解く」事です！！以下にそのコツを伝授します！！



その壱 テスト後の提出課題を前もって終わらせておく

テスト前によくあるのが、提出課題をやる事に追われて、時間がなくなってしまう事です。今回のテスト範囲表が出ていなくても、前回のテスト範囲の最後からが今回のテスト範囲になります。また提出課題は毎回大きく変わるものではありません。そうすると、提出課題を余裕持って終わらせる事ができ、繰り返しする時間を取ることができます！

その弐 テスト範囲表をじっくり見て、重点的に理解するところをおさえておく

テスト範囲表をじっくり見ると、「〇〇のついてしっかり理解しておくように」と書いています。テスト後の課題を終わらせておけば、重点的に理解しなければならぬところ当たって時間を取ることができます。また、直前にテスト対策プリントも渡してくれる教科もあるので、それをやる事もできます。

その参 テスト前学習会に参加する

やるべき理由もやる事もわかったけど、何故そんな風に解くのかかわからない、、、という時には教えてもらうのが一番早く理解できます。ゴールフリーのテスト前学習会ではわからない事を教えてくれるコーチが待機しているので、わからないところをとことん解消していきましょう！！